

保護者様

つくばみらい市立伊奈中学校長 小松崎 茂

令和5年度第2回学校評価アンケートの結果について

啓蟄の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育推進にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、1月に実施した学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒と教職員の回答と共に、生徒が学校生活に満足できる学校を目指して改善をしていきます。

つきましては、下記の通り報告いたします。

記

1 確かな学力を育む教育

(1) 数値目標

- [生徒] ・授業が分かりやすい 80%  
・毎日家庭学習をしている 90%

(2) 実態

- [生徒] ・授業が分かりやすい **91.7%** [1学期比+1.6%] **達成!**  
・毎日家庭学習をしている 70.5% [1学期比-0.2%] 未達成

(3) 今後の対応

- ・生徒が家庭学習の様子を振り返る機会をつくります。
- ・生徒が家庭学習の内容や方法を選択できるようにしたり、授業と家庭学習を連動させたり、家庭学習に自主的に取り組むことができるようにしていきます。
- ・デジタルドリルの有効性を検証し、生徒に最適なドリルを選定します。
- ・授業づくりの研究校等を視察したり、教員同士が授業を参観しあったりして、教員の授業力の向上に努めます。
- ・生徒一人一人に合った支援についての検討を継続し、実施していきます。

## 2 豊かな心を育む教育

### (1) 数値目標

- [生徒] ・ 道徳の授業で考えを深めている 90%  
・ 自分たちで問題を解決している 60%

### (2) 実態

- [生徒] ・ 道徳の授業で考えを深めている **92.8%** [1学期比+1.1%] **達成!**  
・ 自分たちで問題を解決している **93.4%** [1学期比+0.2%] **達成!**

### (3) 今後の対応

- ・ 道徳授業を複数の教員が指導できる体制づくりを目指します。
- ・ 学校全体で道徳教育の授業改善についての研修を設けます。

## 3 健やかな体を育む教育

### (1) 数値目標

- [保護者] ・ 子どもの健康に関心がある 70%  
[生徒] ・ 自ら進んで運動している 90% ・ 体調管理に気を付けている 95%  
・ 危険を予測した生活をしている 70%

### (2) 実態

- [保護者] ・ 子どもの健康に関心がある **97.9%** [1学期比+1.9%] **達成!**  
[生徒] ・ 自ら進んで運動している 68.3% [1学期比-6.3%] 未達成  
・ 体調管理に気を付けている 82.7% [1学期比+1.1%] 未達成  
・ 危険を予測した生活をしている **83.7%** [1学期比+3.2%] **達成!**

### (3) 今後の対応

- ・ 授業で、体力や運動能力向上のためのメニューを導入し、体力向上の取組を継続します。
- ・ 保健の授業で基本的な生活習慣の重要性を理解し、体調を適切に管理できるようにしていきます。
- ・ 食事、運動、休養、睡眠などの重要性について、生徒に伝えていきます。
- ・ 生活習慣病や基本的な感染症に関する知識を持ち、個人でできる予防手段を講じることができるよう、保健体育の授業や保健安全教育、保健便りなどを通じて情報発信していきます。

## 4 時代に変化に対応できる教育

### (1) 数値目標

- [生徒] ・夢や目標をもって生活している 70%
- [保護者] ・親子で将来について話す 80%
- [生徒] ・情報モラルを意識している 80%

### (2) 実態

- [生徒] ・夢や目標をもって生活している 67.0% [1学期比+1.2%] 未達成
- [保護者] ・親子で将来について話す 85.4% [1学期比+4.0%] 達成!
- [生徒] ・情報モラルを意識している 87.6% [1学期比+4.7%] 達成!

### (3) 今後の対応

- ・保護者や生徒への進路に関する情報提供をスクリレやクラスルーム、動画配信システムを使ってリアルタイムで実施する取り組みを今後も継続していきます。
- ・好きなことや興味があることを深く調べたり、他の人に伝えたりする機会をもつことで、将来の目標や夢を明確にできる授業を実践していきます。

## 5 自立と社会参加に向けた特別支援教育

### (1) 数値目標

[教員]

- ・生徒の相互理解が深まった 80% ・生徒の実態に応じた授業をしている 80%

### (2) 実態

[教員]

- ・生徒の相互理解が深まった 90.9% [1学期比 +9.1%] 達成!
- ・生徒の実態に応じた授業をしている 86.3% [1学期比-13.7%] 達成!

### (3) 今後の対応

- ・保護者には、学校だよりや学年だよりを通して、様々な取組について知らせる機会を設けます。
- ・学校、学年、学級の実態に合わせて、引き続き個に応じた支援を積み重ねていきます。

#### 問合せ先

つくばみらい市立伊奈中学校

教頭 会沢 裕之





電話 0297-58-0201

# 確かな学力を育む教育

## ○問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの推進

			
<p>学習の見通しを立てたり 振り返ったりする活動</p>	<p>I C Tを活用した試行錯誤、アウトプット、振り返り</p>		

## ○指導の個別化と学習の個性化を図った指導の充実

 <p>市の教育委員会が作成した「家庭学習てびき」を活用して、家庭での学習を奨励。</p>	 <p>デジタルドリルへ取組状況を確認し、生徒に助言。</p>	  <p>暮らしやすいつくばみらい市にするため、教科を超えて考えた。</p>
<p>「学習の手引き」の活用</p>	<p>e ライブラリの学習履歴活用</p>	<p>教科等横断的な視点の推進 (特に STEAM 教育)</p>

## ○生徒の自己実現を図る評価

 <p>授業の終わりに、授業で学んだこと、新たな疑問などを振り返る時間を確保。</p>	 <p>企業訪問で学んだことを、1年生にプレゼンテーションする。</p>	 <p>英語で説明する活動を学習用タブレット端末に録画。再生して課題を見付け、改善に生かす。</p>
<p>毎時間の授業の振り返り</p>	<p>学んだことをアウトプット</p>	<p>I C T機器を効果的に活用</p>

# 確かな学力を育む教育

- とてもあてはまる
- あてはまる
- あくはまらない
- まったくあてはまらない
- 分からない
- 該当がない

調査対象	調査結果	
生徒 363名	授業は分かりやすい。	毎日家庭学習している。
保護者 144名	授業は、お子さんにとって分かりやすい。	お子さんは、毎日家庭学習している。
教職員 22名	伊奈中学校では、生徒にとって分かりやすい授業をしている。	生徒は、毎日家庭学習している。

## 数値目標

- [生徒] ・授業が分かりやすい 80%  
 ・毎日家庭学習をしている 90%

## 実態



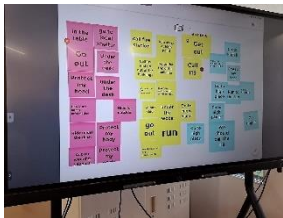
- [生徒] ・授業が分かりやすい **91.7%** [1学期比+1.6%] **達成!**  
 ・毎日家庭学習をしている 70.5% [1学期比-0.2%] 未達成

## 今後の対応

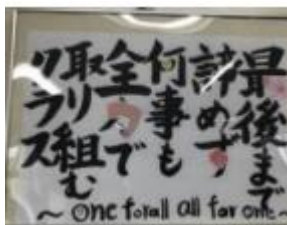

- ・生徒が家庭学習の様子を振り返る機会をつくります。
- ・生徒が家庭学習の内容や方法を選択できるようにしたり、授業と家庭学習を連動させたり、家庭学習に自主的に取り組むことができるにしていけます。
- ・デジタルドリルの有効性を検証し、生徒に最適なドリルを選定します。
- ・授業づくりの研究校等を視察したり、教員同士が授業を参観しあったりして、教員の授業力の向上に努めます。
- ・生徒一人一人に合った支援についての検討を継続し、実施していきます。

# 豊かな心を育む教育

## ○ICT を効果的に活用した「考え、議論する道徳」の推進

		<p>警察官、携帯電話会社の方を講師に、SNSの使い方について、友達と意見を交わしながら学んだ。</p>	
<p>情報モラルに関する指導</p>		<p>ICTを活用して情報共有</p>	



## ○自発的、自主的な活動の充実

	<p>学年初めに生徒が学級目標を決め、生徒総会で発表。</p>		<p>「学級のMVPを選ぼう」 学級で、活躍している生徒を選ぶ活動。</p>
<p>「合意形成を図って取り組む」 学習過程の展開</p>		<p>互いの良さを認める振り返りの実施</p>	

## ○日常生活上の諸問題を生徒自らが解決する取組の充実

	<p>「生命（いのち）の安全教育」と共に、相談することの大切さと方法を伝えた。</p>		<p>生徒の意見をもとに、自転車の通行ゾーンと待機場所の分離を実現。</p>		<p>生徒会役員が校則の見直しについて、議論。</p>
<p>SOS の出し方に関する教育の推進</p>		<p>人権に配慮し、多様性を認める校則等の見直し</p>			

## ○いじめの早期発見・迅速な対応と不登校生徒の解消

	<p>いじめ、不登校生徒の状況と対応について、週1回、教職員や専門家と情報共有。</p>		<p>朝の会で自己PR。他者から認められる機会を意図的に設定。</p>		<p>登校が困難な生徒、学級での活動が困難な生徒の支援のため、市の総合教育支援センターの職員と共に運営。</p>
<p>校内生活指導部会で情報共有</p>		<p>学級活動の充実</p>		<p>校内フリースクールの運営</p>	



# 豊かな心を育む教育

- とてもあてはまる
- あてはまる
- あてはまらない
- まったくあてはまらない
- 分からない

調査対象	調査結果		
<b>生徒</b> <b>363名</b>	道徳の授業で考えを深めている。	自分たちの問題を自分たちで解決している。	伊奈中学校では、いじめをなくすための取組や、いじめをいち早く見つける取組、いじめがあったときの対応をしている。
	<p>58.1% (あてはまる), 34.7% (とてもあてはまる), 15.4% (あてはまらない), 9.7% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>	<p>64.2% (あてはまる), 29.2% (とてもあてはまる), 15.4% (あてはまらない), 9.7% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>	<p>63.6% (あてはまる), 19% (とてもあてはまる), 15.4% (あてはまらない), 9.7% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>
<b>保護者</b> <b>144名</b>	お子さんは、道徳の授業で考えを深めている。	お子さんは学校で、自分たちの問題を自分たちで解決している。	伊奈中学校は、いじめについて、未然防止、早期発見、迅速な対応をしている。
	<p>54.9% (あてはまる), 29.9% (とてもあてはまる), 15.4% (あてはまらない), 9.7% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>	<p>63.2% (あてはまる), 11.1% (とてもあてはまる), 15.3% (あてはまらない), 9.7% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>	<p>52.1% (あてはまる), 29.9% (とてもあてはまる), 15.4% (あてはまらない), 9.7% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>
<b>教職員</b> <b>22名</b>	生徒は、道徳の授業で考えを深めている。	生徒は学校で、自分たちの問題を自分たちで解決している。	伊奈中学校は、いじめについて、未然防止、早期発見、迅速な対応をしている。
	<p>77.3% (あてはまる), 18.2% (とてもあてはまる), 15.4% (あてはまらない), 9.7% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>	<p>63.6% (あてはまる), 9.1% (とてもあてはまる), 18.2% (あてはまらない), 9.1% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>	<p>40.9% (あてはまる), 54.5% (とてもあてはまる), 15.4% (あてはまらない), 9.7% (まったくあてはまらない), 1.9% (分からない)</p>

## 数値目標

[生徒]

- ・道徳の授業で考えを深めている 90%
- ・自分たちで問題を解決している 60%

## 実態

[生徒]

- ・道徳の授業で考えを深めている **92.8%** [1学期比+1.1%] **達成!**
- ・自分たちで問題を解決している **93.4%** [1学期比+0.2%] **達成!**

## 今後の対応

- ・道徳授業を複数の教員が指導できる体制づくりを目指します。
- ・学校全体で道徳教育の授業改善についての研修を設けます。

# 健やかな体を育む教育

## ○体育・スポーツ活動の充実と体力の向上

 <p>体力テストの結果を踏まえ、日々の授業で体力向上のための取組を実践。</p>	 <p>コロナ禍後、生徒の悲願だった、学年を超えた交流が実現。</p>	 <p>部活動指導員4名による指導を開始</p>
<p>体力アップ推進プラン「敏捷性・握力アッププロジェクト」の実施</p>	<p>全校生徒による体育祭の実施</p>	<p>部活動改革の推進</p>

## ○健康の保持増進のための実践力の育成を図る学校保健の充実

 <p>産婦人科の医師が性教育講演会。「君は愛されるために生まれた」がテーマ。</p>	 <p>薬剤師による、薬物乱用防止教室の実施。身近な薬の服用にも注意がいることを生徒に伝えた。</p>
<p>外部講師による性に関する指導</p>	<p>外部講師による薬物乱用防止教育</p>

## ○学校安全の充実

 <p>現場の警察官から、ヘルメット着用が命を守る話を聞いた交通安全教室。</p>	 <p>水害を想定した避難訓練を実施。「マイタイムライン」を作成し防災意識を高めた。</p>	 <p>不審者が校内に侵入した想定で、教職員の動き、生徒の動きを確認。</p>
<p>外部講師による交通安全教室</p>	<p>水害のリスクに応じた防災教育</p>	<p>不審者に対応する訓練</p>



# 健やかな体を育む教育

● とてもあてはまる  
● あてはまる  
● あてはまらない  
● まゆなくあてはまらない  
● 分からない

調査対象	調査結果			
生徒 363名	自分自身の健康に関心がある。	自ら進んで運動している。	自分の体調管理に気を付けている。	危険を予測した生活をしている。
保護者 144名	お子さんの健康に関心がある。	お子さんは、自ら進んで運動している。	お子さんは、自分の体調管理に気を付けている。	お子さんは、危険を予測した生活をしている。
教職員 22名	生徒は、自分の健康に関心がある。	生徒は、自ら進んで運動している。	生徒は、自分の体調管理に気を付けている。	生徒は、危険を予測した生活をしている。

## 数値目標

- [保護者]・子どもの健康に関心がある 70%
- [生徒]・自ら進んで運動している 90% ・体調管理に気を付けている 95%
- ・危険を予測した生活をしている 70%

## 実態


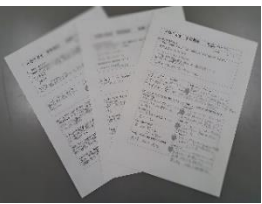

- [保護者]・子どもの健康に関心がある **97.9%** [1学期比+1.9%] **達成!**
- [生徒]・自ら進んで運動している 68.3% [1学期比-6.3%] 未達成
- ・体調管理に気を付けている 82.7% [1学期比+1.1%] 未達成
- ・危険を予測した生活をしている **83.7%** [1学期比+3.2%] **達成!**

## 今後の対応

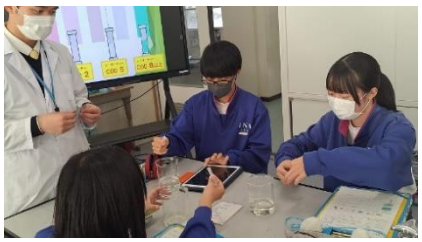
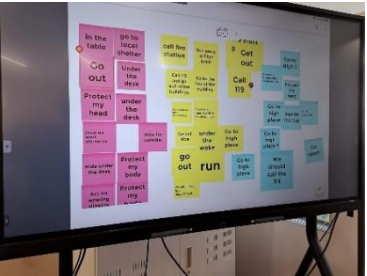

- ・授業で、体力や運動能力向上のためのメニューを導入し、体力向上の取組を継続します。
- ・保健の授業で基本的な生活習慣の重要性を理解し、体調を適切に管理できるようにしていきます。
- ・食事、運動、休養、睡眠などの重要性について、生徒に伝えていきます。
- ・生活習慣病や基本的な感染症に関する知識を持ち、個人でできる予防手段を講じることができるよう、保健体育の授業や保健安全教育、保健便りなどを通じて情報発信していきます。

# 時代の変化に対応できる教育



## ○学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の実施

 <p>職場体験活動での学びを、1年生に伝えた。</p>	 <p>なりたい自分を意識し、行事等を通して自己評価。</p>	 <p>15の業種の方を招いて職業についての話を聞いた、キャリア教育講演会。</p>
<p>学ぶことと社会の意識付け</p>	<p>「いばらきキャリア・パスポート」の活用</p>	<p>家庭・地域との連携による推進</p>



## ○科学技術に対する興味・関心を高めるための教育の充実

 <p><b>[理科]</b> 学校の東側を流れる川の汚れを調べた。</p>	 <p><b>[英語]</b> ハザードマップを使って市内に住む外国人に避難の仕方を英語で表現。</p>	 <p><b>[道徳]</b> 事故で汚れた日本海をきれいにした人々を題材に、つくばみらい市をよりよくしていくために、自分たちにできることを考えた。</p>
<p>SDGs に関する教科等横断的な学び</p>		

## ○情報モラル教育の充実

 <p>ネットの使い方について、警察官と携帯電話会社の方が授業。</p>	 <p>インターネットの利便性に潜む危険性について、警察OBより話を聞いた。</p>
<p>オンライン情報モラル教室</p>	<p>オンライン全校非行防止教室</p>

## ○リアルタイム学習支援システム「MetaMoji Classroom」を活用した授業実践の共有

 <p>意見を出し合う際に、授業で使う同じ機能を活用。</p>	 <p>教育委員会の指導主事等から、授業についての指導・助言を受けた。</p>	 <p>授業を教員が互いに見合っ て、スキルアップ。</p>
<p>教員の研修で</p>	<p>」教育委員会の訪問で</p>	<p>相互に授業参観</p>

# 時代の変化に対応できる教育

- とてもあてはまる
- あてはまる
- あてはまらない
- まったくあてはまらない
- 分からない

調査対象	調査結果		
<b>生徒</b> <b>363名</b>	夢や希望をもって生活している。	親子で将来について話している。	情報モラルを意識して生活している。
<b>保護者</b> <b>144名</b>	お子さんは、夢や希望をもって生活している。	親子で将来について話している。	お子さんは、情報モラルを意識して生活している。
<b>教職員</b> <b>22名</b>	生徒は、夢や希望をもって生活している。	生徒は、親子で将来について話している。	生徒は、情報モラルを意識して生活している。

## 数値目標

- [生徒] ・夢や目標をもって生活している 70%
- [保護者] ・親子で将来について話す 80%
- [生徒] ・情報モラルを意識している 80%

## 実態

- [生徒] ・夢や目標をもって生活している 67.0% [1学期比+1.2%] 未達成
- [保護者] ・親子で将来について話す 85.4% [1学期比+4.0%] 達成!
- [生徒] ・情報モラルを意識している 87.6% [1学期比+4.7%] 達成!

## 今後の対応

- ・保護者や生徒への進路に関する情報提供をスクリーンやクラスルーム、動画配信システムを使ってリアルタイムで実施する取り組みを今後も継続していきます。
- ・好きなことや興味があることを深く調べたり、他の人に伝えたりする機会をもつことで、将来の目標や夢を明確にできる授業を実践していきます。

# 自立と社会参加に向けた特別支援教育

## ○全教職員による支援の充実

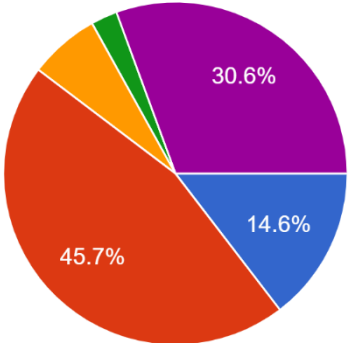
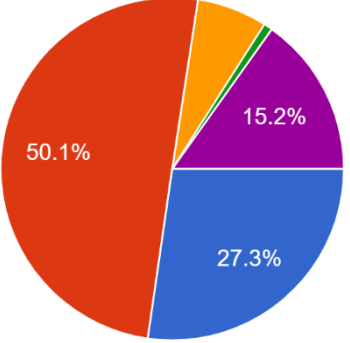
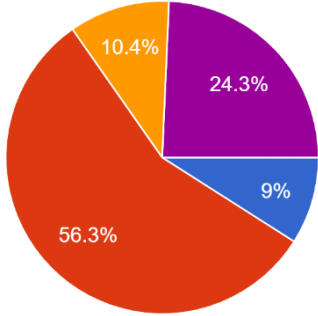
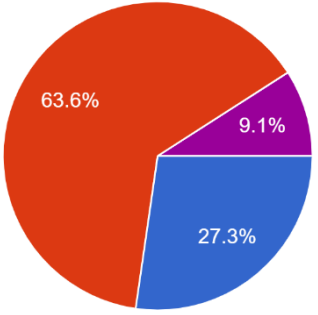
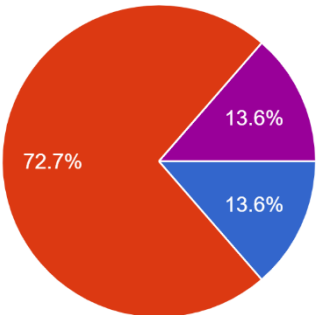
		
<p>すべての生徒に分かりやすい、ユニバーサルデザインを意識した授業を実施。</p>	<p>生徒への効果的な支援方法を全教職員で検討し、実践。</p>	<p>特別支援学校の教員から、生徒の支援方法について、専門的な助言を受けた。</p>
<p>ユニバーサルデザインを意識した授業の実施</p>	<p>校内支援委員会の開催による配慮を要する生徒の実態や指導法についての情報共有</p>	<p>特別支援学校による巡回相談の実施</p>

## ○交流学習の実施

		<p>美術や音楽、保健体育、技術家庭科などの教科では、特別支援学級の生徒も、同学年の生徒といっしょに学習。 特別支援学校の生徒も、本校の授業に参加した。</p>
<p>特別支援学級在籍生徒の交流</p>		



# 自立と社会参加に向けた特別支援教育

調査対象	調査結果	
<b>生徒</b> <b>363名</b>	伊奈中学校は、あなたの実態に合わせた指導をしている。	生徒の相互理解が深まった。
		
<b>保護者</b> <b>144名</b>	学校は、お子さんの実態に合わせた指導をしている。	
		
<b>教職員</b> <b>22名</b>	伊奈中学校では、生徒の実態に合わせた指導をしている。	生徒同士の相互理解が深まった。
		

## 数値目標

[教員]

- ・生徒の相互理解が深まった 80%
- ・生徒の実態に応じた授業をしている 80%

## 実態

[教員]

- ・生徒の相互理解が深まった **90.9%** [1学期比 +9.1%] **達成!**
- ・生徒の実態に応じた授業をしている **86.3%** [1学期比 -13.7%] **達成!**

## 今後の対応

- ・保護者には、学校だよりや学年だよりを通して、様々な取組について知らせる機会を設けます。
- ・学校、学年、学級の実態に合わせて、引き続き個に応じた支援を積み重ねていきます。